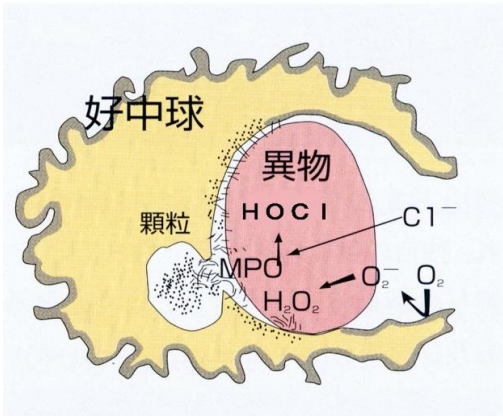


生命から学び人体の殺菌システムを応用した 次亜塩素酸水サンテジア

人体そのものが行っている殺菌システムでは、白血球の中にある好中球が菌の侵入に対して防御を担っています。好中球は細菌が侵入すると、酸素代謝を活発に行って活性酸素を作り出します。



この活性酸素を元にして過酸化水素 (H_2O_2) を合成し、さらに酵素の働きを受けて次亜塩素酸 (HOCl) を作り、この次亜塩素酸で菌の膜を攻撃し死滅させて細菌の体内組織への侵入を防いでいます。

この好中球が生成する「人体の作る殺菌成分の次亜塩素酸 (HOCl)」を高濃度に含んでいるのが次亜塩素酸水<サンテジア>です。

そしてサンテジアは、厚生労働省が食品添加物に認定している原材料の次亜塩素酸ナトリウム+希塩酸と水の特許製法で希釈混合することによって生成している安心&安全な除菌消臭剤です。

次亜塩素酸水と次亜塩素酸ナトリウム（水溶液）との違い

古くから次亜塩素酸ナトリウム（水溶液）は、除菌や衛生管理などに使われていますが次亜塩素酸水とは異なった特徴をもっています。

	次亜塩素酸水	次亜塩素酸ナトリウム
主成分とPH	次亜塩素酸 PH5.0~6.5 (弱酸性)	次亜塩素酸イオン PH12以上 (強アルカリ性)
使いやすさ	◎ 原液のままでもすぐ使える用途によって薄めることも可能	✕ すすぎ洗いが必要 高濃度原液を希釈して使用 酸性洗剤と混ぜると塩素が発生するため取扱注意
安全性	○ 素手で触れても問題ない	✕ 強アルカリ性、手袋必要 金属腐食あり トリハロメタン発生
臭い	○ ごくかすかに塩素臭あり	✕ 強い塩素臭あり
除菌力	◎ 次亜塩素酸ナトリウムより除菌するスピードが80倍速い	○ 高濃度にしないと効果ない
使用後の残留性	◎ 有機物と触れたところはすぐ水に還り、残りの有効成分は失活する	△ 表面に残留する